

第 11 回全国和牛能力共進会 宮城大会(種牛の部)について(報告)

1 開催概要(予定)

開催日：平成 29 年 9 月 7 日(木)～11 日(月)(5 日間)
場所：夢メッセみやぎ(宮城野区港)
参加頭数：種牛の部 330 頭、高校の部 14 頭(肉牛の部 180 頭)
参加道府県：39 道府県
予想来場者数：約 39 万人
飲食関係出店、試食ブース：多数

2 食品衛生に関する対応

- ① 実行委員会との協議、連絡：随時(平成 28 年 1 月～)
 - ・出店エリアの衛生確保、提供可能食品、出店者への事前指導、出店者リスト等
- ② 出店者説明会：平成 29 年 6 月 29 日(宮城県庁にて)
 - ・営業許可手続き、衛生的な食品の取扱い等
- ③ 出店者への許可申請時指導：随時
- ④ 現場監視指導：平成 29 年 9 月 7 日 AM(8 日 PM)
 - ・飲食店、喫茶店営業(BBQ コーナー含む)：81 施設
 - ※BBQ コーナー：七輪での調理…各テーブルに「持ち帰り不可」「十分に加熱」等の掲示
 - ・食肉、魚介類販売業：4 施設
 - ・食品、菓子、そうざい、野菜販売業：91 施設
 - ・試食ブース：24 か所

3 開催実績等

- ① 来場者数 <実行委員会報告より>

月 日	天候等	来場者数
9 月 7 日(木)	雨 22.2/19.6℃	4.0 万人
9 月 8 日(金)	晴 28.9/18.6℃	7.1 万人
9 月 9 日(土)	晴 28.7/16.7℃	11.8 万人
9 月 10 日(日)	晴 28.9/18.8℃	13.8 万人
9 月 11 日(月)	曇り 25.1/18.7℃	5.0 万人

合計 41.7 万人

- ② 食品等に関する事故：情報なし
- ③ 出品頭数：種牛の部 330 頭、高校の部 14 頭(肉牛の部 183 頭)
 - ※第 2 区(若雌 14～17 ヶ月未満)で宮城県産牛が日本一を獲得
 - 総合：宮城県 4 位(1 位鹿児島県、2 位宮崎県、3 位大分県)



第 11 回全国和牛能力共進会宮城大会(肉牛の部)について (食肉衛生検査所の対応)

1. 概要

全国和牛能力共進会は 5 年に 1 度開催される別名「和牛のオリンピック」で牛を性別や月齢によって 1~9 区に分類し、体形や毛並、肉質などを審査する。今回は過去最高の 513 頭が出品され、うち 183 頭が肉牛の部として食肉市場に搬入された。

2. 開催日時

平成 29 年 9 月 7 日～9 月 11 日

3. 事前指導(課題の抽出とその対応)

- ① 係留所(牛を収容する施設でコンクリート床)に受傷防止用のため畳を敷設するとの計画が示された。

これに対し、ハエ等の衛生害虫の発生や衛生状態を確保するため、畳の衛生管理マニュアルの作成を指導した。

- ② と畜日以前に搬入された牛が病気になった場合に、緊急と畜とそれにとまなうと畜検査を求められた。(閉庁後の夜間を含み、検査員にとっては 24 時間対応)

これに対し、翌日まで生存が望めない獣医師が診断した場合は緊急病畜検査を行うこととし、2 名の検査員と管理職員 1 名が 9/5～9/6 まで緊急対応が可能な体制を維持した。(対応事例なし)

4. と畜検査当日の対応

- ① と殺の前に行った生体検査で 183 頭の全てが合格となり順次と殺解体を進めていたが 1 頭(宮崎県産)が起立困難となり病畜として検査対応を行った。
- ② 事前指導でマニュアルなどを整備したこともありスムーズに進行しトラブルの発生はなかった。

5. 参考

- ① 全 183 頭の平均重量は、482.5 kg
- ② 枝肉の最上位(A5 等級)が約 6 割を占めた
- ③ 最優秀枝肉賞は鹿児島県の 22 か月齢で 1 頭 2,475 万円 (5 万円/kg)
- ④ 総合優勝である団体表彰 1 位は鹿児島県、2 位は宮崎県、3 位が大分県、宮城県は 4 位だった